

令和6年度

「運営に関する計画」 中間評価

◎赤字は今年度新たに設定、または文言や数値を修正した部分。

大阪市立大宮西小学校

令和6年12月

大阪市立大宮西小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和4年3月改定の市中期目標達成に向けた昨年度の目標は、「安心・安全な教育」では全般的にわずかながら未達成、「学力・体力」ではおおむね達成、「教育環境」では全体として上回って達成の状況だった。ただし、学年別、同一集団による経年変化等を分析すると今年度もほとんど同水準で改善をめざす必要がある。特に「教育環境」面では、昨年度配置されて大幅な改善に寄与したワークライフバランス支援員の配置停止、スクールサポートスタッフも4月12日現在配置されておらず、厳しい状況である。また、中期目標達成のため、もう一段ギアを上げて取り組むべき項目も多く、教職員が一層の共通認識に基づいた実践を進める必要がある。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ・令和7年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・令和7年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を1%以下とする。
- ・令和7年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を60%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合をどの学年も35%以上、平均40%以上にする。
- ・令和7年度小学校学力経年調査における国語および算数の標準化得点を、100以上とする。
- ・令和7年度小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合をどの学年も80%以上、平均85%以上にする。
- ・令和7年度小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- ・令和7年度小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いたスライドを作ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を3年50%以上、4年70%以上、5年90%以上、6年100%とする。
- ・令和7年度までに「ゆとりの日」を週に1回設定・実施し、順守する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標(全市共通目標を含む)

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を88%以上にする。

- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度(1.7%)より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童(2人)の改善の割合を50%以上とする。
- ・年度末の児童アンケート「学級や学校のきまりを守っていますか」の項目について、肯定回答の割合を93%以上にする。
- ・年度末の児童アンケート「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、肯定回答の割合を88%以上とする。
- ・年度末の児童アンケート「学校へ行くのが楽しい」の項目についての肯定回答の割合と、保護者向けの対応項目でどちらも95%以上とする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合をどの学年も40%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.3ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合をどの学年も80%以上とする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度(今年度4年19.5%、5年21.1%、6年7.7%)より1ポイント減少させる。
- ・小学校学力経年調査における「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか」に対して、否定的回答をする児童の割合を45%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・運動会当日など ICT 活用が適さない日を除く授業日において、8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いたスライドを作ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を3年50%以上、4年70%以上、5年90%以上、6年95%とする。
- ・「ゆとりの日」を週に1回設定・実施し、順守する。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立大宮西小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を88%以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度(1.7%)より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童(2人)の改善の割合を50%以上とする。 ・年度末の児童アンケート「学級や学校のきまりを守っていますか」の項目について、肯定回答の割合を93%以上にする。 ・年度末の児童アンケート「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、肯定回答の割合を88%以上とする。 ・年度末の児童アンケート「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定回答の割合と、保護者向けの対応項目でどちらも95%以上とする。 	

(様式2)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】【基本的な方向2 豊かな心の育成】【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>栽培・観察活動やゲストティーチャーによる授業等の校内体験学習、大阪の特色ある施設利用等による校外体験学習等を充実させ、主体的に学び続ける充実感を持たせる。また、キャリアパスポート等でこれらの取組を記録し、将来的に活用できる素地を構築する。</p> <p>指標</p> <p>①年度末の児童アンケート「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定回答の割合と、保護者向けの対応項目でどちらも95%以上とする。</p> <p>②キャリアパスポートに全学年とも年間に5枚ずつ記録を残す。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>教科で友達の意見を認め合ったり、学級活動で友だちの良さを認め気持ちを伝え合う学習を毎学期行ったりするなど、さまざまな教育活動を通して各自が達成感を味わい、自尊感情・自己肯定感が高まるように指導する。</p> <p>指標</p> <p>年度末の児童アンケート「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、肯定回答の割合を88%以上とする。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>教科書教材による道徳授業を一層深めていく。また、「決まりを守る」ことについて全教員が統一した指導を行うとともに教員自らも率先して実践する。さらに、児童の実態を把握し、「みんなが決まりや規則を守ること、みんなが安心して学べる楽しい学校となる」ことが実感できる集団育成を行う。</p> <p>指標</p>	B

<p>① 年度末の児童アンケート「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定回答の割合を93%以上にする。</p> <p>② 全教員が年度末アンケートで「児童が守るべきルールや、ホームページに各学年の話題を上げる回数など本校教員としてのルールを順守している」と肯定的回答をする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>挨拶や丁寧な言葉遣いができ、望ましい規範意識・礼儀を身に付ける意識を持つようにその意義や効用を理解させるとともに、教職員自身も積極的に実践して、日常の教育活動を進める。</p> <p>指標</p> <p>① 年度末の児童アンケート「自分から進んであいさつをしている」の肯定回答の割合を89.0%以上にする。</p> <p>② 全教員が年度末アンケートで「挨拶や丁寧な言葉遣いについて積極的に実践している」と肯定的回答をする。</p>	B
<p>取組内容⑤【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】</p> <p>上記取組内容①～④についての情報共有や、児童に関する各校内委員会の月1回以上実施等によって、教職員の共通理解促進に努め、児童への適切な支援、保護者対応、関係諸機関との連携を一層強めることで、個に応じた支援、いじめ・不登校対応の一層の充実を図る。</p> <p>指標</p> <p>① 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を88%以上にする。</p> <p>② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度(1.7%)より減少させる。</p> <p>③ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童(2人)の改善の割合50%以上とする。</p>	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容① キャリアパスポートを計画的に進めているので、継続指導する。</p> <p>第1学年…3枚、第2学年…5枚、第3学年…6枚、第4学年…6枚、第5学年…7枚、第6学年…4枚</p> <p>取組内容② 学級活動や道徳、終わりの会を中心に取り組んでいる。</p> <p>取組内容③ 取り組んではいるが、まだ不十分のため、事例等を共有し、全教員が統一した指導を行うことができるようにする。教員の実践(HP等)も一層、強化していく。</p> <p>取組内容④ 年3回の強調週間「生活を明るくする週間」等を設定し、呼びかけてはいる。今後も継続指導する。</p> <p>取組内容⑤ 月1回の情報共有や個に応じた児童への適切な指導・支援等をしている。</p>	
次年度への改善点	
<p>取組内容①</p> <p>取組内容②</p> <p>取組内容③</p> <p>取組内容④</p> <p>取組内容⑤</p>	

大阪市立大宮西小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を どの学年も 40%以上 にする。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.3 ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上 にする。 ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を どの学年も 80%以上 にする。 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 70%以上 にする。 ・小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度(今年度の 4年 19.5%、5年 21.1%、6年 7.7%)より 1 ポイント減少させる。 ・小学校学力経年調査における「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか」に対して、否定的回答をする児童の割合を 45%以上 にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、だれ一人取り残さない学力の向上】</p> <p>基礎的な学力の土台となる認知機能を養う ICT アプリを通年の帯学習（漢字・計算・読解・視写等）に加えて計画的に実施することを通して、自主学習習慣の確立の手立てや基礎的な学力の定着を図る。また、これまでの漢字検定を生かした漢字学習を工夫し、学ぶ意欲の向上につなげる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>①小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団で経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.3 ポイント向上させる。</p> <p>②小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向4、だれ一人取り残さない学力の向上】</p> <p>話し合い活動等を通し、自ら課題を設定して「考える力」「伝え合う力」を育む。更に、主体的に書くことへとつなげる教育活動を各教科で行い、全教員（他教科専科教員を除く）が国語科での研究授業を実施する。</p>	B

<p>指標</p> <p>①小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40%以上 にする。</p> <p>②年度末の児童アンケート「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか」に対して、否定的回答をする児童の割合を 45%以上 にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学校司書との連携や蔵書等管理パソコンの活用等で学校図書館の利用を充実させるとともに、学級での図書指導、読書週間、区図書館の集団貸出し制度を効果的に活用し、読書意欲を高める。</p>	B
<p>指標</p> <p>①読書カードを活用し、読書量を高学年 20 冊、低学年 30 冊以上とする。</p> <p>②年度末の児童アンケート「本を読むことは楽しい」の肯定回答の割合を低学年で 80% 以上、高学年で 70%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】</p> <p>新たに配置された理科専科教員を中心に、実験・観察など体験的学習とグループ学習などによる考察を数多く取り入れた理科授業を構築し、児童の理科学習意欲を向上させる。</p>	B
<p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上 にする。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】</p> <p>通年での英語モジュール学習の実施や、小中兼務英語科教員・C-Net 講師の指導技術等を全教員が吸収することで、幅広い英語学習・英語活動に役立て、児童の英語学習意欲を向上させる。</p>	B
<p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を どの学年も 80%以上 にする。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】</p> <p>各学年で家庭学習材の継続的な提供と提出状況の把握を通して家庭学習の習慣化を図ったり、自主学習の定着していない児童に放課後学習会への参加を継続的に促したりするとともに、自分なりの作品や学習成果をクラス等で発表や交流ができる場を設けていく。</p>	C
<p>指標</p> <p>① 家庭学習の定着を図るために必要な家庭学習材を提供し、提出率を 95%以上 にする。</p> <p>② 全教員が年度末アンケートで「授業中に困り感のある児童や自主学習の定着していない児童に放課後学習会への参加を継続的に促している」と肯定的回答をする。</p> <p>③ 自分なりの作品や学習成果を発表や交流できる機会を工夫し、年間で 1 人当たり 3 回以上、うち低学年で 1 回以上、中・高学年で 2 回以上は「書くこと」と関連づいた機会を設ける。</p>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>体育科校内実技研修会の開催などを通し、教員全体の体育指導力を向上させるとともに、全校児童の体力・運動能力の状況を把握し、適切な運動の機会を設定してコロナ以前の運動量を確保する。</p>	B

<p>指標</p> <p>①体育実技研修会を年2回、計画的に実施する。</p> <p>②小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 70%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑧【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>保健学習、保健指導を計画的に実施し、健康な生活を送る力を養う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>保健指導アンケートで「低学年は午後9時、高学年は午後10時までには寝るようにしている」の肯定的回答を1学期と比較して3学期には5ポイント向上させる。</p>	C
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①</p> <p>ICT アプリを活用することで基礎学力の定着を図っている。反面、自主学習の手立てになっているのかという疑問や学力定着の個人差の問題がある。個人差に関しては、アプリの機能の1つとして、他学年の学習の振り返りができるため、その機能を活用することで改善している。</p> <p>取組内容②</p> <p>授業中にペアやグループで話し合いをする時間を確保しているが、「書けないけどしゃべれる児童」も目立つので、話し合い活動のための書く力を付けさせることが喫緊の課題である。サポート学級の児童は、指導者とともに参加することができている。</p> <p>取組内容③</p> <p>読書意欲の高まりが見られているが、ノートは個人によって開きがある。また、アンケートでは、児童に比べて保護者の肯定的回答が低いことが課題である。アプローチとして、団体貸し出しの利用や2冊本を読んだらシールを貼るごほうびシステムを行っている学級がある。</p> <p>取組内容④</p> <p>担当教諭がいたときはできていた。現在理科専科の教諭がいないため、代替教員の配置を望む声が多い。</p> <p>取組内容⑤</p> <p>デジタル教科書の活用や、モジュールを計画通りに進めたり、歌やアルファベットの学習を取り入れたりすることでうまく進めることができている。技術吸収の点においては、スケジュールの都合上、担任主体のクラスもある。</p> <p>取組内容⑥</p> <p>家庭学習の習慣がついていない児童が多い。個別の声掛けを進めている。自主学習の内発的動機づけとなる活動を作っていく。</p> <p>取組内容⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季研修を一度行った。 ・みんな遊びの時間や適度な運動の機会の設置によりコロナ以前の運動量の確保ができている。 <p>取組内容⑧</p> <p>11月以前は心についての保育指導を行った。11月の保健週間で睡眠について伝える予定。クラスでは保健の時間を活用して睡眠の話をしたり、折を見て話をしたり動画を見せて意識付けをしたりしているところもある。</p> <p>しかし、睡眠に関しては学校だけではなく家庭との連携ができなければ・・・というところが課題である。</p>	
次年度への改善点	
<p>取組内容①取組内容②</p> <p>取組内容③取組内容④</p> <p>取組内容⑤取組内容⑥</p> <p>取組内容⑦取組内容⑧</p>	

大阪市立大宮西小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組まず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 【ICTの活用に関する目標】 ・運動会当日などICT活用が適さない日を除く授業日において、8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いたスライドを作ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を3年50%以上、4年70%以上、5年90%以上、6年95%とする。 【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】 ・「ゆとりの日」を週に1回設定・実施し、順守する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 ICT機器や一人一台端末を日常的に学習活動で活用するとともに、毎日の「心の天気」の活用や「相談機能」の積極的活用、教員も毎日 PC を確認することなどの実践を通じて、すべての児童がコンピュータ等の活用スキルや情報リテラシーを向上させる。		B
指標 ① 運動会当日などICT活用が適さない日を除く授業日において、8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。 ② 小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いたスライドを作ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を3年50%以上、4年70%以上、5年90%以上、6年95%とする。		
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 会議・行事の精選やICT・アプリ等の効果的活用を進めるとともに、全教職員が校務分掌等の役割を適切に果たしていくことで、偏った長時間勤務の防止に努める。		
指標 「ゆとりの日」を週に1回設定・実施し、順守する。		B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
取組内容①ICT活用率はコグトレなどのアプリの効果的な活用で、今年度大きく上昇した。今後も系統立てた本校のICTスタンダードを構築し、活用できるようにする。 取組内容②職員朝会を、SKIP上での実施に変更した。（実際に集まるのは週に2回にした。）ゆとりの日は週1回設定しており、組織で順守できるよう努める。教職員の欠員に対して長期間補充されないこともあり、時間外労働時間は増加している。		
次年度への改善点		
取組内容① 取組内容②		